



資料 2

平成31年度事業計画

平成31年2月18日

スマートシティたかまつ推進協議会事務局



会員による勉強会



WGの設置



実証事業

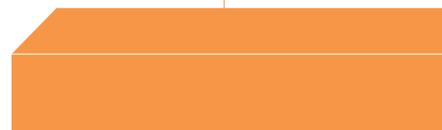


社会実装

- 昨年度構築した共通プラットフォームについて、今年度、
 - ・産学民官の多様な主体が自由にデータを活用できる実証環境、
 - ・既存のオープンデータと合わせて市民向けオープンデータポータルサイトを構築する。

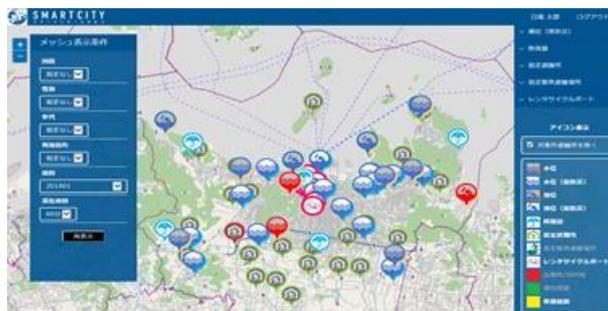
30年度構築予定

オープンデータサイト



29年度構築

共通IoTプラットフォーム



共通プラットフォーム



実証に活用可能なデータ

30年度構築予定

実証環境



協議会会員等

sandbox



実証環境



スマートシティたかまつ シンポジウム2018



会期: 2018年2月24日(土) 13:00-15:45

会場: 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BBスクエア(5階)

主催: スマートシティたかまつ推進協議会

共催: 高松市 協力: 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

後援: 香川県・かがわ情報化推進協議会・香川大学

対象: 民間企業・官公庁・自治体・学校・市民など

内容: ・基調講演: 有識者や専門家による講演

・パネルディスカッション: 有識者や専門家7名によるパネルディスカッション

・来場実績: 予定数70名に対して101名出席(関係者含む)

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」での取組



本市とさぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町の3市5町で形成する「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」において、連携して取り組む**新しい事業**として、「**データ利活用型スマートシティ推進事業**」を追加予定。

防災や観光、福祉分野など、高松市域だけでなく、広域で取り組むことで、より効果が得られることから、積極的に周辺市町との連携を進めていく。

圏域に求められる役割



今後のスケジュール（イメージ）



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
総会等	▼ 総会			▼ シンポジウム(予定)			
運営委員会	▼ 2月 第6回			▼ 5月 第7回			▼ 8月 第8回
WG	延長			報告			報告
防災IoT活用WG	→						
健康経営WG	→						
観光情報利活用WG	→						

※WGは議論の進捗に応じて適宜開催

今後の取組

- Society 5.0の実現を加速するため、スマートシティの実装を重要な出口として、関係本部・省庁が連携し、取組を加速する。
- 特に以下の3点について、連携した取組が重要。

1. 全体アーキテクチャの設計

- 都市の計画・開発・管理運営(フィジカル)とデータ利活用(サイバー)の融合
- 相互接続性・拡張性・更新可能性
- 持続的に運用可能な枠組（維持管理体制の収益事業化等）
- データの適正管理 等

2. Society 5.0(新しい社会・価値・ソリューション)の可視化 (ex. 五輪、万博・・・)

3. 国際化への対応

- スマートシティのフレームワーク、指標等の国際標準化に対応
- 個人情報保護・セキュリティ等について、国際的な潮流を踏まえつつ高水準を確保 等

Society5.0実現の加速 推進体制

○タスク・フォースの設置

Society5.0実現加速（スマートシティ・タスクフォース）：

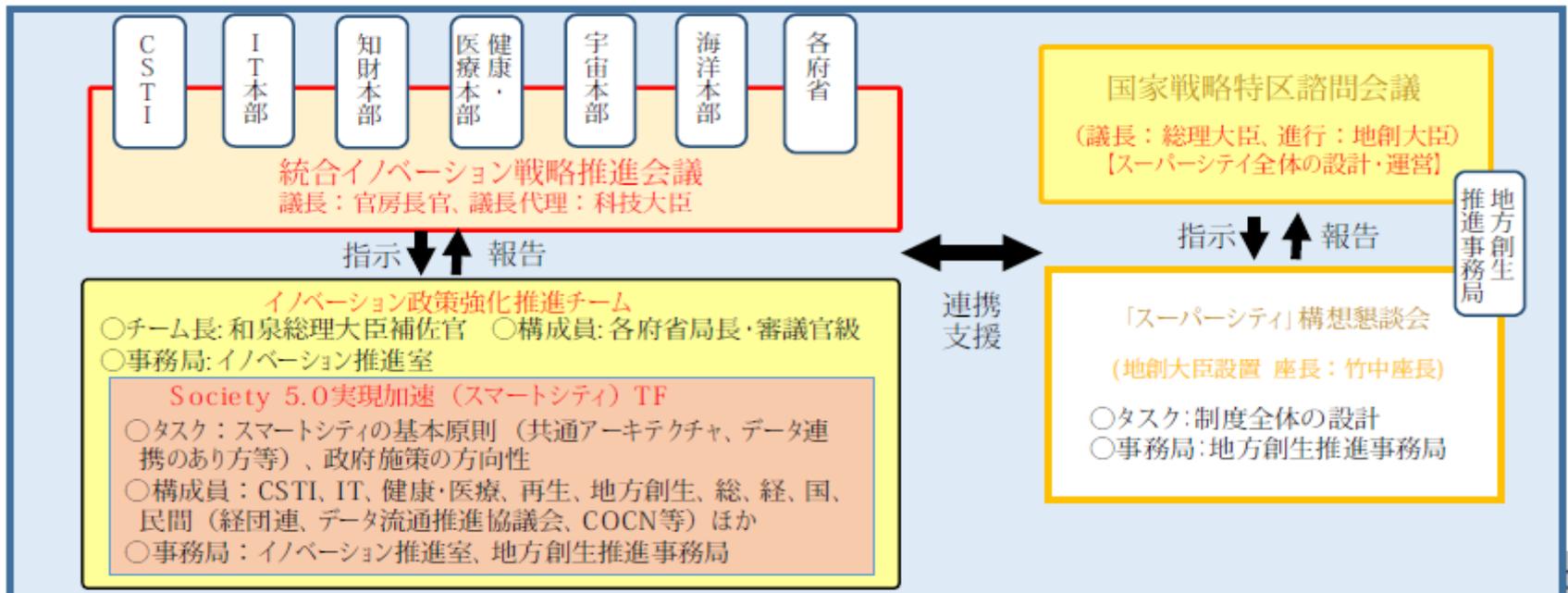
- 統合イノベーション戦略推進会議及びイノベーション政策強化推進チームにおいてスマートシティの取組を推進。特に重要なアーキテクチャ構築やデータ標準化等について議論するため、関係本部・府省によるタスクフォースを設置。
- スーパーシティ構想については、国家戦略特区会議において、抜本的な制度改革も含めた全般的な設計・運営を担う。このうち、実装すべき技術やインフラ整備に関して、Society5.0実現加速TFでの検討を踏まえ、イノベーション推進会議が支援する。

○スケジュール（スマートシティ関連）

- 12月14日 推進会議：スマートシティ実装の議論を開始
- 12～2月 タスクフォースにおいて、スマートシティの基本原則（共通アーキテクチャ、データ連携のあり方等）を整理
- 2～3月 推進会議：スマートシティに関する政府施策の方向性を打ち出し
- 6月 G20、B20において日本の取組を発信

○スケジュール（スーパーシティ関連）

- 12月17日 国家戦略特別区域諮問会議
- 1月 懇談会最終報告
- 春 制度全体の整備
- 夏以降 エリア公募、選定
各エリアでの開発計画策定、インフラ等の整備、運営



国における検討状況（内閣府）



「スーパーシティ」構想について ①未来像・実装技術

- 世界の動きを踏まえ、10月23日の国家戦略特区諮問会議において、安倍総理より、第四次産業革命を体現する世界最先端都市を、先行実施する「スーパーシティ」構想について、基本的なコンセプトを取りまとめるよう指示。
- 11月26日には、「「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会」（座長：竹中平蔵教授）が中間とりまとめを実施。
- 「スーパーシティ」では、行政手続のワンスオンリー、キャッシュレス、自動走行・自動配送、遠隔医療・介護や遠隔教育などの取組を、分野横断的なAIやビックデータの仕組みを活用することによって、都市に実装することを目指す。





平成30年12月14日
国土交通省

「Society5.0」の実現へ、スマートシティを加速！

～企業、自治体から、スマートシティのシーズ・ニーズを募集します～

- 現在、政府においては、AIやIoTなどの新技術と官民データをまちづくり分野に取り入れ、都市・地域の課題を解決するスマートシティ（別紙1,2参照）の実現に向けた取組みを推進しており、「未来投資戦略2018」（平成30年6月15日閣議決定）では、「先進的技術をまちづくりに取り入れたモデル都市の構築に向けた検討」を行うこととされています。
- 今後、国土交通省では、内閣府等の関係省庁と一体となって、関係団体、企業、自治体等と連携し、移動・物流、インフラ、防災・気象、エネルギー・環境、観光等の分野を対象に、アーキテクチャーを構築し、都市・地域問題、社会問題に係るソリューションシステムを構築するモデル事業の実施を、来春より予定しています。
- 今回、モデル事業の実施を含め、今後、政府を挙げてスマートシティ施策を推進するうえで参考とするため、企業、自治体を対象に、スマートシティの実現に向けたシーズ（技術）・ニーズやまちづくりのアイデアについて、提案の募集を開始します。（※切：平成31年1月25日（金）17時）

1. スマートシティの実現に向けた技術提案書 【企業等向け、様式1】

スマートシティの実現に資する技術（別紙3）を保有する企業や団体を対象に、その保有する技術の概要と実績、技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージについて、技術提案を募集します。

2. スマートシティの実現に向けたニーズ提案書 【地方公共団体向け、様式2】

スマートシティを実現する意向のある地方公共団体を対象に、実現したい都市のビジョン、新技術等の導入により解決したい都市の課題、導入したい技術、解決の方向性（イメージ）について、提案を募集します。

3. 提案書の提出について

参画ご希望の方は、応募様式に必要事項を記載のうえ、平成31年1月25日（金）17時までに、下記問い合わせ先へメールにて提出をお願いします。

※提出いただいた内容は、原則公表とさせていただきますが、非公表が望ましい特段の理由がある場合は、個別にご相談ください。

※今回の提案募集に参画しなくとも、モデル事業の公募への応募は可能です。

【問い合わせ先】

国土交通省 スマートシティプロジェクトチーム事務局^{※1}

越智、榎本、関（内線32671, 32663, 32672）

電話：03-5253-8111 直通：03-5253-8411 FAX：03-5253-1590

Mail: hqt-smartcity@ml.mlit.go.jp

※1 電話、FAXは国土交通省都市局都市計画課につながります。

(国土交通省12月14日報道発表)



平成31年2月8日
国土交通省

スマートシティの実現に206団体からの提案を公表 各地域におけるスマートシティの取組に活用

～今春以降のモデル事業の実施に向け、公募・選定へ～

- 昨年12月14日から本年1月25日まで、企業、地方公共団体等を対象にスマートシティのシーズ・ニーズに関する提案募集を実施してきました。
- 提案募集の結果、145団体から293件の技術提案、61の地方公共団体から272件のニーズ提案があり、本日、その内容を国土交通省ホームページに公表しました。企業や地方公共団体等が、今回公表する提案内容を参照することにより、構想を具体化させるなど、各地域における取組みへの活用が期待されます。
- また、本日より、国土交通省内にスマートシティに関する相談窓口を設置します。企業、地方公共団体等からのスマートシティに関する各種相談を受け付けますので、お気軽にお問い合わせください。
- 今後、国土交通省では、今春以降モデル事業を実施するなど、関係省庁とも連携を図りつつ、スマートシティの取組を加速化してまいります。

提案募集の結果

● シーズ（技術）提案

提案団体数：145団体

提案件数：293件

● ニーズ提案

提案地方公共団体数：61団体

提案件数：272件

※概要は別紙をご参照ください。

各団体からの提案（提案内容・連絡先）は以下のURLに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/toshi_city_plan_tx_000044.html

スマートシティ相談窓口

国土交通省スマートシティプロジェクトチーム事務局

・メールアドレス：hqt-smartcity@ml.mlit.go.jp

※ご相談は上記アドレスで24時間受け付けますが、内容の確認は平日の9:30～18:15となりますのでご了承下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省 スマートシティプロジェクトチーム事務局[※]

越智、榎本、関（内線32671, 32663, 32672）

電話：03-5253-8111 直通：03-5253-8411 FAX：03-5253-1590

※ 電話、FAXは国土交通省都市局都市計画課につながります。

(国土交通省2月8日報道発表)